

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和3(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市国際交流協会	所管課	市民文化局市民生活部多文化共生推進課
-----------------	-----------------	------------	--------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

○本市の国際施策に係る総合計画「川崎市国際施策推進プラン」及び多文化共生社会の実現に向けた「多文化共生社会推進指針」に基づく施策が効率的・効果的に行われるよう、市関係部局と密に連携、役割分担をしながら、法人が専門性や柔軟性をもって具体的取組を推進します。

【取組内容】

- 1 市民レベルでの国際交流を促進するための事業を実施するとともに、民間交流団体やボランティア等の活動を支援し、活動支援のための情報提供機能、ネットワーク機能、コーディネート機能、人材育成機能等を有する支援組織としての役割を担います。
- 2 多文化共生を推進するため、外国人市民への日本語学習支援をはじめとする生活支援、平常時・災害時の情報提供、多言語による相談等、公共性が高く、専門性を要するサービスの担い手としての役割を担います。
- 3 国際交流や多文化共生の推進にかかわる地域の課題について、実践的な調査・研究を行い、解決に向けた事業の展開につなげます。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		戦略的なシティプロモーション	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成
	分野別計画	川崎市国際施策推進プラン	

4か年計画の目標

- 1 高い専門性を持ちながら多様化・複雑化する市民ニーズに柔軟かつ効果的に対応することで行政機能を補完・代替・支援するという法人本来の役割を果たします。
- 2 法人の役割として、川崎市の一層の国際化を図り、国際相互理解の増進と国際友好親善に寄与するために、市民や外国人のための情報提供や、国際理解・多文化共生のための講座などの事業を実施します。
- 3 交流促進のための民間国際交流団体及びボランティアの育成、登録を促進するとともに、行政や教育機関等からの依頼に対し登録者をコーディネートし、様々な活動支援を行います。さらに、幅広くネットワーク化することで、市民を主体とした国際交流・多文化共生活動の幅を拡充します。
- 4 事業収益の確保に引き続き努めながら、その他の自主財源確保に向けた取組を進めます。
- 5 事業実施については、公益性の観点から、定期的に分析、評価を行うとともに、実施効果を検証します。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	国際交流促進事業	国際交流・理解のための講座の受講者数	人	1,181	1,181	1,047	c	C	II
		外国人市民の事業への企画・運営参加数	人	92	96	182	a		
		留学生ホームビジット参加者数及び留学生との交流会参加者数	人	282	302	208	c		
		事業別の行政サービスコスト	千円	39,904	40,000	43,517	2)	(3)	
②	民間交流団体及びボランティア活動支援事業	ボランティア登録件数	件	1,158	1,404	1,369	b	B	I
		ボランティアのコーディネート件数	件	610	670	1,257	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	6,430	6,500	6,371	1)		
③	多文化共生推進事業	外国人市民対象のイベント・講座参加者数	人	315	355	91	d	C	II
		日本語講座受講者数	人	467	547	651	a		
		外国人相談件数	件	1,731	2,102	2,976	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	10,442	25,528	24,504	1)	(2)	

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	自主財源の確保に向けた取組	補助金及び指定管理料以外の財源	千円	48,778	48,228	39,249	c	C	II
		ホームページ、情報誌等における広告料収入	千円	0	200	181	b		

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	国際交流をめぐる多様化するニーズに対応する法人組織体制の構築	管理運営能力及び専門性向上のための研修への参加回数	回	25	33	107	a	A	I
		コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a		
②	認知度の向上	ホームページアクセス件数	件	118,219	133,054	139,874	a	B	I
		各種メディアへの掲載及び出演回数	回	77	81	182	a		
		国際交流センター外での活動回数	回	4	8	7	b		

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和2年度につきましては、コロナ禍の対策を行う中で、国際交流促進事業及び多文化共生推進事業において、複数の指標で目標を達することが出来ずに課題を残していたため、令和3年度は、目標達成に向けて、ニーズ把握のアンケート調査等を行いながら、魅力ある企画事業につながるよう対応するとともに、オンラインによる取組も実施しました。今後も引き続き、目標達成に向けて積極的に取組を推進するとともに、自主財源の確保についても、更なる検討・取組の推進を図ります。また、川崎市の国際施策に係る総合計画である「川崎市国際施策推進プラン」の趣旨に沿った国際交流センターの事業計画の取組を推進するとともに、多文化共生社会の実現に向けた「多文化共生社会推進指針」に基づく施策について、専門性や柔軟性をもって具体的な取組を推進します。

【令和3(2021)年度取組評価における総括コメント】

本市施策推進に向けた事業取組について、国際交流促進事業では目標未達成の指標が複数あり、課題があります。一方、民間交流団体及びボランティア活動支援事業の取組においては、目標をわずかに下回った指標もあったが、大きく上回った指標もあり、国際相互理解の増進と多文化共生社会の実現を進める上で、ボランティアの育成や活動支援に寄与することができました。また、外国人相談については、新型コロナウイルス感染症に関連する多くの相談に対応するなど、目標を上回る実績をあげたことは評価できます。

・経営健全化に向けた取組については、自主財源確保のための検討・取組の状況を定期的にモニタリングし、広告料収入は前年度を上回る実績となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、目標未達成の取組があり、引き続き自己収入の確保等を推進していく必要があります。

・コロナ禍において、自主財源の十分な確保までは困難でしたが、オンライン講座を推進して実施したことは評価できます。

・業務・組織に関する取組については、認知度の向上に関し、新型コロナウイルス感染症等の影響の中、ホームページのアクセス件数が目標を上回るとともに、職員の管理運営能力及び専門性の向上やコンプライアンスの徹底も図ることができました。

・今後の取組として、国際交流促進事業については、多様な企画を実施し、オンラインによる受講参加者の増加及び市民の国際理解増進を図ることを期待します。また、多文化共生推進事業については、今後も外国人相談など質の高い市民サービスの提供とともに、国際施策推進プラン及び多文化共生社会推進指針に基づく施策の担い手として、多文化共生社会の実現に向けて貢献できるよう尽力することを期待します。

・経営健全化に向けた取組については、各種広告による自己収入確保等、自主財源確保のための取組を着実に進めることが必要と考えます。

・業務・組織に関する取組については、職員の専門性を向上させ、今後の自主的・自律的な運営を期待します。

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和3(2021)年度)

事業名	国際交流促進事業
計画(Plan)	
指標	①国際交流・理解のための講座の受講者数、②外国人市民の事業への企画・運営参画数、③留学生ホームビジット参加者及び留学生との交流会参加者数
現状	・国際理解のための講座や国際交流に係るイベントは、国際交流センターを拠点に20年以上実施してきており、市内他施設にない特色のある実施内容により受講・参加者は増加傾向にあります。 ・修学奨励金支給事業は、本市在住・在学の留学生への支援、情報提供を行うものであり、本市における留学生に対象を絞った唯一の事業です。
行動計画	・テーマ、国・地域、実施形式について、多様な企画を実施し、受講・参加者の増加及び市民の国際理解増進を図ります。 ・講師の選定にあたり、これまで培ってきたネットワークを活用し、併せて、外国人市民を事業の企画・立案に参画させる機会の増加を図ります。 ・留学生に修学奨励金支給のほか、ホームビジット等の交流機会及び生活情報の提供など、留学生生活の充実を支援するとともに、広くグローバル人材が求められる中、川崎にゆかりのある人材の活用につなげるため、留学生修学奨励金受給者のネットワーク化を図ります。
具体的な取組内容	①国際交流・理解のための講座として、外国語講座、国際文化理解講座、ふれあい交流会等を実施します。中国・瀋陽市姉妹・友好都市提携40周年を迎えることから、世界の音楽会の企画に当たり、中国・瀋陽市の文化に関連したテーマで実施します。また、国際文化理解講座では、今年度、日本とドイツ交流160周年に当たることから、ドイツの文化に関連したテーマで実施します。また、参加者アンケートを実施し、関心度やニーズ等を把握し、学習運営の改善に努めます。 ②国際文化理解講座やふれあい交流会の講師の選定や企画・運営での参画、学校等での国際理解教育、教育委員会の多文化共生ふれあい事業等の企画・実施の依頼に対応し、外国人市民の企画・運営参画に向け取り組みます。 ③新型コロナウイルス感染症の影響から、外国人留学生の入学制限が行われていることや各家庭での交流活動については、ホームビジットを含め困難な状況にありますが、留学生との交流会については、日本人大学生との交流活動やオンラインによる市民交流など、交流手法を工夫し参加者の増加に向け取り組みます。

実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人向けの各種語学講座は、「英語」「中国語」「韓国・朝鮮語」「フランス語」を「前期・後期語学講座」として23講座を実施し、396人が参加しました。子ども向けの各種語学講座は、「英語」「スペイン語」を「春休み・夏休み子ども語学教室」として6講座を実施し、91人が参加しました。 ・外国語による国際理解講座では、「英語」を6回(「ミャンマーの生活をかきまみる」などをテーマにしたもの)、「中国語」及び「韓国語」の国際理解講座を実施し、99人が参加しました。国際文化理解講座では、日本・ドイツ交流160周年を記念し、ドイツの観光やドイツワインの魅力など3講座を実施し、22人が参加しました。 ・「おもてなし観光ボランティア通訳セミナー」では、川崎市観光プロモーション推進課と連携し、工場夜景など臨海部の観光地をバスで巡り、実際の観光ガイドのテクニックを学びました。また、「日本語ボランティア研修」では、次年度に実施を予定している「就労の日本語講座」のためのボランティア研修の一部オンラインで実施しました。 ・今年度から、地域の国際化の推進に向け「外国人市民と共生するまちづくりセミナー」をテーマを変えて3回開催し、85人が参加しました。なお、講座参加者及びオンラインで実施した講座の状況は下記のとおりです。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人市民の事業への企画・運営参画については、市内在住の外国人市民等を講師とする「国際文化理解講座」や市内在住の留学生等を講師とする「外国語による国際理解講座」などで運営参画していただいたほか、国際交流センターで実施する講座等の事業の運営に参加していただきました。また、情報誌「シングル」の特集に「日本語講座」を2回取り上げたことにより、多くの外国人市民の方にインタビューという形で参画を得ることができました。なお、外国人市民の事業参画者数は下記のとおりです。 <p>【指標3関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、外国人留学生の入学制限が行われたことや各家庭での交流活動についても難しい状況が続いているため、「ホームステイ」及び「ホームビジット」は実施できませんでした。また、「留学生との交流会」についても、対面での交流ができませんでした。オンラインによる活動を継続的にを行い、発表についても3回にわたり、オンラインで市民と交流を行うことにより、昨年度より約2倍の参加者を得ました。 																																																								
	<p><2021 国際交流・理解のための講座の受講者状況> O.L.: オンライン対応事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>参加者数</th> <th>講座名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各種語学講座(前期)</td> <td>198</td> <td>就労のための日本語学習支援</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>各種語学講座(後期)</td> <td>198</td> <td>やさしい日本語研修会(2回)</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>子ども語学教室(夏休み子ども語学教室)</td> <td>47</td> <td>生活にほんごサロンボランティア養成研修(3回・O.L.)</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>子ども語学教室(春休み子ども語学教室)</td> <td>44</td> <td>日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座(1)</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>国際文化理解講座(ドイツ)</td> <td>22</td> <td>日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座(2)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>英語による国際理解講座(前期・O.L.)</td> <td>27</td> <td>外国につながる子どもの教育フォーラム</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>英語による国際理解講座(後期・O.L.)</td> <td>25</td> <td>寺子屋ボランティアブラッシュアップ研修</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>韓国語による国際理解講座</td> <td>26</td> <td>外国人市民と共生するまちづくりセミナー第1回</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中国語による国際理解講座</td> <td>21</td> <td>外国人市民と共生するまちづくりセミナー第2回</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>おもてなし観光ボランティア通訳セミナー</td> <td>35</td> <td>外国人市民と共生するまちづくりセミナー第3回</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>災害時支援ボランティア養成セミナー(O.L.)</td> <td>41</td> <td>SIGNAL編集ボランティア研修会(O.L.)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>ボランティア研修会(O.L.)</td> <td>42</td> <td>地球市民講座</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1047</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	講座名	参加者数	講座名	参加者数	各種語学講座(前期)	198	就労のための日本語学習支援	44	各種語学講座(後期)	198	やさしい日本語研修会(2回)	28	子ども語学教室(夏休み子ども語学教室)	47	生活にほんごサロンボランティア養成研修(3回・O.L.)	27	子ども語学教室(春休み子ども語学教室)	44	日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座(1)	16	国際文化理解講座(ドイツ)	22	日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座(2)	15	英語による国際理解講座(前期・O.L.)	27	外国につながる子どもの教育フォーラム	10	英語による国際理解講座(後期・O.L.)	25	寺子屋ボランティアブラッシュアップ研修	15	韓国語による国際理解講座	26	外国人市民と共生するまちづくりセミナー第1回	28	中国語による国際理解講座	21	外国人市民と共生するまちづくりセミナー第2回	37	おもてなし観光ボランティア通訳セミナー	35	外国人市民と共生するまちづくりセミナー第3回	20	災害時支援ボランティア養成セミナー(O.L.)	41	SIGNAL編集ボランティア研修会(O.L.)	21	ボランティア研修会(O.L.)	42	地球市民講座	60	合計		1047	
	講座名	参加者数	講座名	参加者数																																																					
	各種語学講座(前期)	198	就労のための日本語学習支援	44																																																					
各種語学講座(後期)	198	やさしい日本語研修会(2回)	28																																																						
子ども語学教室(夏休み子ども語学教室)	47	生活にほんごサロンボランティア養成研修(3回・O.L.)	27																																																						
子ども語学教室(春休み子ども語学教室)	44	日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座(1)	16																																																						
国際文化理解講座(ドイツ)	22	日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座(2)	15																																																						
英語による国際理解講座(前期・O.L.)	27	外国につながる子どもの教育フォーラム	10																																																						
英語による国際理解講座(後期・O.L.)	25	寺子屋ボランティアブラッシュアップ研修	15																																																						
韓国語による国際理解講座	26	外国人市民と共生するまちづくりセミナー第1回	28																																																						
中国語による国際理解講座	21	外国人市民と共生するまちづくりセミナー第2回	37																																																						
おもてなし観光ボランティア通訳セミナー	35	外国人市民と共生するまちづくりセミナー第3回	20																																																						
災害時支援ボランティア養成セミナー(O.L.)	41	SIGNAL編集ボランティア研修会(O.L.)	21																																																						
ボランティア研修会(O.L.)	42	地球市民講座	60																																																						
合計		1047																																																							
<p><2021 外国人市民の事業への企画・運営参画者数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>参画者数</th> <th>事業名</th> <th>参画者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国語による国際理解講座講師等</td> <td>13</td> <td>外国につながる子どもの寺子屋</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>国際文化理解講座(ドイツ)</td> <td>4</td> <td>外国人市民と共生するまちづくりセミナー</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>災害時支援ボランティア養成セミナー</td> <td>2</td> <td>日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ボランティア研修会講師</td> <td>0</td> <td>魅惑の音楽紀行</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>情報誌 座談会・インタビュー・校正</td> <td>84</td> <td>カナガワビエンナーレ国際児童画展</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>スピーチコンテストの運営</td> <td>8</td> <td>合計</td> <td>182</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	参画者数	事業名	参画者数	外国語による国際理解講座講師等	13	外国につながる子どもの寺子屋	45	国際文化理解講座(ドイツ)	4	外国人市民と共生するまちづくりセミナー	3	災害時支援ボランティア養成セミナー	2	日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座	2	ボランティア研修会講師	0	魅惑の音楽紀行	14	情報誌 座談会・インタビュー・校正	84	カナガワビエンナーレ国際児童画展	7	スピーチコンテストの運営	8	合計	182																													
事業名	参画者数	事業名	参画者数																																																						
外国語による国際理解講座講師等	13	外国につながる子どもの寺子屋	45																																																						
国際文化理解講座(ドイツ)	4	外国人市民と共生するまちづくりセミナー	3																																																						
災害時支援ボランティア養成セミナー	2	日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座	2																																																						
ボランティア研修会講師	0	魅惑の音楽紀行	14																																																						
情報誌 座談会・インタビュー・校正	84	カナガワビエンナーレ国際児童画展	7																																																						
スピーチコンテストの運営	8	合計	182																																																						

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	国際交流・理解のための講座の受講者数	目標値	1,181	1,181	1,181	1,181	1,181	人
	説明 地域の国際化の担い手としての市民の国際理解の増進 ※個別設定値: 1,122 (現状値の95%)	実績値		1,074	1,022	772	1,047	
2	外国人市民の事業への企画・運営参画数	目標値	92	93	94	95	96	人
	説明 外国人市民が主体的に国際理解・交流事業の企画・運営に参画する機会の増加	実績値		101	132	118	182	
3	留学生ホームビジット参加者数及び留学生との交流会参加者数	目標値	282	287	292	297	302	人
	説明 留学生の地域における交流機会の増加	実績値		319	85	118	208	
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						
指標3 に対する達成度		C						

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

【指標1関連】

目標値を達成できなかった要因としては、新型コロナウイルス感染症に関する本市の方針等に基づき、会議室等の定員を制限していることがあげられます。また、新型コロナウイルス感染症の不安から参加を控えている方もいることが推察されます。こうした状況を鑑み、事業の内容に応じて、対面ではなくオンラインによる運営に変更し(6事業で参加者は183名)、実施したこともあり、受講者数は、R2年度の実績を上回りました。

【指標2関連】

外国人市民の講座等への企画・運営参画で特徴的な事業としては、「情報誌シグナルのインタビュー」があります。特に、日本語講座の特集を2回連続して行ったことから、インタビューに関わった外国人市民(R3は84名、R2は26名)が多く、目標値を達成しました。

【指標3関連】

新型コロナウイルス感染症の影響から、外国人留学生の入国制限が行われたことや、各家庭での交流活動についても難しい状況が続いているため、「ホームステイ」及び「ホームビジット」は実施できませんでした。なお、「留学生との交流会」については、新型コロナウイルス感染症の影響から対面での交流はできませんでしたが、オンラインによる発表や交流に切り替え実施しました。結果として、R2年度の実績を上回りました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	39,904	40,000	40,000	40,000	40,000	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値		47,574	39,593	43,610	43,517	
行政サービスコストに対する達成度		2)	1. 実績値が目標値の100%未満 2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4. 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

コロナ禍の中、経費節減に努めながらの事業執行を行いました。施設利用料収入の減少により実績値が目標値を若干上回り、目標を達成することができませんでした。昨年度と比較し、施設利用料収入は増加しましたが、引き続き、コロナ禍においても、施設利用料収入を確保するために、センターの認知度向上や魅力ある講座の企画などを進めます。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と行政サービスコストに対する達成度)等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1) 十分である (2) 概ね十分である (3) やや不十分である (4) 不十分である	(3)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I 現状のまま取組を継続 II 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市国際交流協会	所管課	市民文化局市民生活部多文化共生推進課
----------	-----------------	-----	--------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和3(2021)年度)

事業名	民間交流団体及びボランティア活動支援事業
計 画 (Plan)	
指標	①ボランティア登録件数、②ボランティアのコーディネート件数
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住外国人市民及び訪日外国人観光客の増加に加え、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催及び本市の英国チーム事前キャンプ地決定に伴い、ボランティアに対する市民の関心が高まっています。 ・市民レベルでの交流を支えるホームステイ、通訳、国際理解教育、日本語講座などボランティアの登録先としての法人の信頼度は高いですが、登録者ごとに活動経験、スキル等に差があることから、育成、支援が必要です。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の機運をとらえて、さらに国際相互理解の増進と多文化共生社会の実現を進める上で、ボランティアの育成、活動支援を積極的に行います。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①定住する外国人市民に対し、社会生活で求められる日本語学習の支援や通訳・翻訳の依頼、外国につながる子どもの学習支援等に対応するとともに、市民のボランティア活動に対する関心に応えるため、ボランティアの養成・育成に取り組みます。特に、コロナ収束後を見据え、インバウンドに対応する観光ボランティア通訳セミナーの実施や災害時多言語支援センターとして対応できるよう災害時通訳ボランティアセミナーを実施します。 ②学校等からの国際理解や多文化共生教育に関する講師派遣依頼等に対応するとともに、国際交流センターの事業において、様々なボランティア活動についてコーディネートしていきます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティア登録を拡充するため、「おもてなし観光ボランティア通訳セミナー」(35人)、「災害時通訳ボランティアセミナー」(41人)、「やさしい日本語ボランティア研修」(28人)を実施しました。 ・上記ボランティア養成研修の実施もあり、ボランティアの登録件数については、「通訳・翻訳」410件、「ホームステイ」181件、「ホームビジット」112件、「日本語講座」102件、「国際理解教育支援」79件、「一般」392件、「保育」34件、「編集」26件、「やさしい日本語」33件の計1,369件となりました。前年度のボランティア登録件数1,314件に、新たに109件の登録が加わったものの、年度末の更新手続きで、54件の方が未更新となり、前年度より55件の増加となりました。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主なコーディネートの内容として、「通訳翻訳」が199件、「日本語講座」が91件、「生活にほんごサロン」が459件、「外国につながる子どもの寺子屋」が46件、「国際理解教育支援」が103件、「情報誌の編集・取材・校正・発送」が147件、「保育」が43件、講座等の受付他を行う「一般ボランティア」が169件あり、総数は1,257件となり、昨年度と同様に目標値を大きく上回っています。
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	ボランティア登録件数	目標値	1,158	1,215	1,275	1,338	1,404	件
	説明 オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンド対策、多文化共生促進に向けたボランティアの育成(個人・家庭)	実績値		1,248	1,274	1,314	1,369	
2	ボランティアのコーディネート件数	目標値	610	630	640	670	670	件
	説明 ボランティア活動支援及び法人のコーディネート機能強化・充実	実績値		833	696	1,396	1,257	

指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

【指標1関連】

昨年度のボランティア登録件数(1,314件)に加え、新たに109件が登録し、合計1,423件になりました。年度末の更新手続きで、54件の方が未更新となったため、令和3年度は1,369件の登録件数となっています。目標値(1,404件)は達成できませんでしたが、特徴としては、「おもてなし観光ボランティア通訳セミナー」の終了後に、33人の方が一般ボランティアに登録したことなどがあげられます。

【指標2関連】

学校等通訳・翻訳支援業務を受託できなかったことから、昨年度よりコーディネート件数は減少しましたが、新型コロナウイルスの感染がやや落ち着いてきたことから、「生活にほんごサロン」(土曜日・日曜日にマンツーマンで実施)の新規マッチングを再開し、活動が増加していることや、「情報誌シグナル」の取材、編集、校正、発送に係わるボランティアが増加したことから、目標値を上回りました。

	達成状況	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多かった E. 現状を大幅に下回った	B	区分選択の理由 ボランティア登録件数について、市民の関心の高まりや多様なニーズに応え、様々なセミナーや研修会を開催したことで、現状値を上回るとともに、ボランティア活動の支援について、従来から登録・活動を重ねてきた分野に加え、日本語講座関係のボランティア活動の領域を広げた結果、目標値を達成することができ、ボランティア活動支援事業の推進に寄与したため。

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	6,430	6,500	6,500	6,600	6,500	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		6,182	6,399	10,616	6,371	
行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上						

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

コロナ禍のなか経費節減に努めながら事業執行を行ったことや、昨年度と比較して、直接自己収入となる講座事業収益をある程度確保することができたため、実績値が目標値の範囲内となりました。今後も、より財政負担の少ない効率的な事業執行に努めるとともに、自己収入の向上を図ってまいります。

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	区分 (1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)	区分選択の理由 行政サービスコストの目標値の範囲内で、ボランティア登録における様々なセミナーや研修会を開催し、登録数の目標値は達成できませんでしたが、前年度実績値を上回るとともに、ボランティア活動の領域を広げコーディネート件数は、前年度と同様に目標値を大幅に上回ったため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I 現状のまま取組を継続 II 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市国際交流協会	所管課	市民文化局市民生活部多文化共生推進課
----------	-----------------	-----	--------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和3(2021)年度)

事業名	多文化共生推進事業
計画(Plan)	
指標	①外国人市民対象のイベント・講座参加者数、②日本語講座受講者数、③外国人相談件数
現状	<ul style="list-style-type: none"> 外国人市民が日常的に利用できる多言語相談窓口を設置しているほか、日本で生活する上で必要な情報を提供する説明会並びに講座、コミュニケーション支援としての日本語講座を実施しており、多文化共生社会実現の推進に貢献しています。 市と法人は、「川崎市災害時多言語支援センターに関する協定書」を締結(平成24年2月)しており、災害時の外国人市民支援を、さらに進める必要があります。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 多言語相談体制の充実に努めるとともに、外国人市民を対象とした講座等については、ニーズを的確にとらえた企画を行い、実施します。 質の高い日本語講座を提供するとともに、受講を契機とした外国人市民の施設利用及び他イベント・講座等への参加者数増加を目指します。 防災については、国際交流センターにおいて外国人市民を主な対象とした体験的な防災訓練の実施、広報など災害に備える意識啓発を図るとともに、市と協働して「川崎市災害時多言語支援センター」設置運営訓練を実施します。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①外国人市民や外国につながる子どもたちを対象に、日々の生活をサポートする講座やイベントを開催します。令和2年度から開催している「就職活動セミナー」や小学校入学準備のための「小学校入学説明会」、申請条件の確認から場所の選択など個別の相談を実施する「市営住宅申し込み説明会」を引き続き開催し、生活基盤を整えることから就学や就職まで、より良い暮らしを実現するための支援を実施します。 ②生活者としての外国人市民の日本語講座を実施します。実施に当たり、新型コロナウイルス感染症の感染防止として、オンライン講座の導入を図ります。また、ホームページやSNSなどを通じて広報の強化に努めます。 ③ネイティブスピーカーを含む11言語(やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、朝鮮語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語)の相談員により、多文化共生総合相談ワンストップセンターでの相談事業を実施します。利用しやすさを考慮し、受付時間を毎日(週6日間)3時間拡充し、同時に通訳電話を導入することで相談言語の幅を広げるとともに、Zoomを活用したオンライン相談を開始します。さらに、外国人市民代表者会議の委員募集にあわせてワンストップセンターの広報チラシを市内の各外国人市民世帯へ配布することで、国際交流センターの周知に努めます。

実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人市民が日本で生活する上で必要な情報を提供する講座については、コロナ禍の状況でオンラインや個別対応にするなど、密を避けることに留意しながら、「市営住宅申し込みセミナー」「日本語を母語としない人のための高校進学ガイダンス」「外国人のための就職活動セミナー」「外国につながる子どものための小学校入学説明会」を実施しました。「外国につながる子どものための小学校入学説明会」では、感染拡大の時期にあたった為、一同に集まる形での開催ではなく、急遽個別の対応に変更することで、安全を守りながらの小学校入学準備の支援となりました。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、キャンセルとなったポッチャ大会の代わりに、Zoomオンラインで、日本文化や参加者の母国の文化の紹介や質疑応答など、皆で気軽に交流する「わいわい国際交流会」を実施しました。Zoomオンライン利用により、新型コロナ感染予防に役立ち、また、海外からの参加も可能にしました。 参加人数内訳:「市営住宅申し込みセミナー」(6月、14人参加)、「日本語を母語としない人のための高校進学ガイダンス」(11月、33人参加)、「外国人のための就職活動セミナー」(11月、12人参加)、「わいわい国際交流会(Zoomオンライン)」(12月21人参加)「外国につながる子どものための小学校入学前説明会」(1月、11家族参加) <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人市民を対象にした日本語講座については、平日午前の日本語講座に417人、平日夜間の日本語講座に234人が参加しました。昨年度は1学期の日本語講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年度はオンラインで実施しました。 学習者へのニーズを把握するためのアンケート調査の結果、就労に関する学習ニーズが高いことから、来年度、「就労」に関する日本語学習支援にも重点を置いた取組を行います。 <p>【指標3関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「多文化共生総合相談ワンストップセンター」は週6日の英語・中国語・やさしい日本語、週2日の韓国・朝鮮語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語、ネパール語の計11言語のほか、民間の通訳サービスを活用して相談言語の幅を広げて対応しました。今年度から相談受付時間を拡充(10:00~12:00,13:00~16:00~9:00~17:00)するとともに、7月からZoomを活用したオンライン相談を開始するなど、相談窓口の利便性を向上させる取組を実施しました。新型コロナウイルス感染症に関連する各種支援策における相談の増加等を受けて大幅に相談件数が増加した令和2年度に引き続き、令和3年度においてもワクチン接種に関する相談の増加等により、目標値2,102件に対して約42%増となる2,976件の相談がありました。なお、そのうち7月から開始したZoomを活用したオンライン相談は24件でした。Zoomオンライン相談は来年度以降も継続予定です。また、相談件数の増加のみならず、感染拡大に伴う生活困窮など他の相談窓口等と連携した対応が必要なケースが増加し、多様化・複雑化した相談内容に対して、相談者の個別の状況に応じた丁寧な相談対応を実施しました。 「多文化共生総合相談ワンストップセンター」周知徹底のため、チラシを作成し、市及び各施設、関係機関等に広く配布し、外国人相談窓口の周知を図りました。また、市が行う外国人市民代表者会議委員募集案内や区役所・支所における新規転入者に配布するウェルカムセットにチラシを同封するなど、相談窓口の周知を実施しました。
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	外国人市民対象のイベント・講座参加者数	目標値	315	325	335	345	355	人
	説明 外国人市民の生活支援の充実	実績値		274	214	99	91	
2	日本語講座受講者数	目標値	467	487	507	527	547	人
	説明 外国人市民のコミュニケーション支援の充実	実績値		429	364	448	651	
3	外国人相談件数	目標値	1,731	1,817	1,907	2,002	2,102	件
	説明 外国人市民の生活支援の充実	実績値		1,558	1,702	2,895	2,976	
指標1 に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						
指標3 に対する達成度		a						

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

【指標1関連】

・市営住宅申込みセミナー、高校進学ガイダンス、外国人のための就職活動セミナー、小学校入学前説明会、わいわい国際交流会を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から、定員数を制限しての実施だったことから、参加人数は限られました。また、ポツチャ大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。

【指標2関連】

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、日本語講座では対面からオンラインに切り替えたことで、中止せずに運営できたことが目標値を達成した要因につながっていると考えています。

【指標3関連】

・「多文化共生総合相談ワンストップセンター」において、新型コロナウイルス感染症に関連する各種支援策における相談の増加等を受けて大幅に相談件数が増加した令和2年度に引き続き、令和3年度において、相談受付時間を拡充するとともにワクチン接種に関する相談の増加等により、目標値2,102件に対して約42%増となる2,976件の相談件数となりました。なお、そのうち7月から開始したZoomを活用したオンライン相談は24件でした。相談件数の増加のみならず、感染拡大に伴う生活困窮など他の相談窓口等と連携した対応が必要なケースが増加し、多様化・複雑化した相談内容に対して、相談者の個別の状況に応じた丁寧な相談対応を実施しました。また、相談窓口の認知度向上に向けて、新しく作成したチラシを新規転入者向けウェルカムセットに同封するなど取組を進めました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多かった E. 現状を大幅に下回った	C

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	10,442	10,500	10,500	25,528	25,528	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値		9,600	24,032	24,358	24,504	

行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

コロナ禍の影響がある中、経費の節減に努めながらの事業実施や、魅力ある講座の企画や日本語講座におけるオンラインでの実施を導入するなどの対応を図った結果、実績値が目標値の範囲内となりました。今後も引き続き経費節減に努めるとともに、講座事業収入を確保するために、魅力ある講座の企画などを進め、より財政負担の少ない効率的な事業執行に努めます。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市国際交流協会	所管課	市民文化局市民生活部多文化共生推進課
----------	-----------------	-----	--------------------

3. 経営健全化に向けた取組①(令和3(2021)年度)

項目名	自主財源の確保に向けた取組
計画(Plan)	
指標	①補助金及び指定管理料以外の財源、②ホームページ、情報誌等における広告料収入
現状	・外国語講座を中心に事業収益は継続的に増加しており、国際交流協会事業において主たる自主財源となり補助率の抑制につながっています。一方、市民レベルの国際交流促進や、日本語講座をはじめとした外国人市民を対象とした講座、多言語による生活相談等の多文化共生など、法人の事業分野は公共性・必要性が高いですが収益性に乏しく、補助金等の財政的関与は、一定程度必要です。
行動計画	外国語講座をはじめとする事業収益やセンター利用料収入等の確保に引き続き努めながら、外部助成金の活用、満期償還に伴う基本財産運用先の見直し、寄附受入、受託業務、収益事業など様々な手法について検討し、自主財源の増加を図ります。
具体的な取組内容	①市補助金及び指定管理料以外の自主財源について、国際交流センター使用料収入(駐車場使用料含む)、講座事業収益、賛助会費等により安定的な財源確保を図ります。 ②企業、商店等への個別訪問など、様々な機会を捉えて自主財源としての広報誌の広告掲載及びホームページのパナー広告掲載による広告料の獲得を図ります。また、ホームページについては、アクセス件数を伸ばし広告価値を高めるために、ホームページのリニューアルを行い情報発信を強化します。

実施結果(Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>・国際交流センター施設使用料、駐車場使用料、講座等事業参加料については、収入の自主財源の大部分を占めています。令和3年度もコロナ禍による「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」への対応のため、施設使用料と駐車場使用料については、夜間区分の新規利用受付の停止や各施設の利用定員の削減などを行ったこともあり、実績値の回復には影響があったと考えられますが、感染対策を徹底し、より多くの事業実施や施設利用につなげたことに伴い、前年度からはそれぞれ増加し、15,506千円と4,641千円となりました。さらに、講座等事業参加料についても、令和元年度から令和2年度にかけての語学講座、日本語講座等への参加者減から、令和3年度は増に転じるとし、14,114千円(うちオンラインによる講座収入は1,270千円)となり、自主財源の確保を図りましたが目標値を下回る結果となりました。</p> <p>・賛助会員については、様々な機会等を捉えて募集活動を行い、団体会員13団体(会費130千円)、個人会員43名(延べ47口141千円)から合計271千円の賛助会費を確保し、昨年度の合計額(210千円)を上回るとともに、今年度当初予算額(250千円)もクリアすることができました。</p> <p>【指標2関連】</p> <p>・コロナ禍の中ではありましたが、関連企業や関係団体等への個別訪問や電話での勧誘を行い、季刊誌SIGNAL(3月・6月・9月・12月の年4回発行、広告掲載スペース各2枠)への広告掲載は、計8社からの広告掲載を取り付け、計8枠64千円(1枠8千円)を確保しました。また、ホームページへのパナー広告についても、7社から広告掲載を取り付け計117千円の広告料を得て、自主財源の確保を図りました。</p> <p>・ホームページについては、魅力的でより見やすいホームページとなるよう検討を行い、デザインのリニューアルを行いました。</p>
---------------	--

評価(Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	補助金及び指定管理料以外の財源	目標値		45,995	46,954	47,646	48,228	千円
	説明 自主財源の確保に向けた取組の推進	実績値	48,778	45,770	44,897	29,132	39,249	
2	ホームページ、情報誌等における広告料収入	目標値		50	100	150	200	千円
	説明 新たな自主財源確保に向けた創意工夫	実績値	0	0	24	109	181	
指標1に対する達成度	C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						
指標2に対する達成度	b							
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
・自主財源の確保については、施設利用料及び講座参加料がそれぞれ昨年度より6,726千円、5,943千円増加したものの、年度当初からのコロナ禍の影響もあり目標値を下回る結果となりました。 ・広告料については、コロナ禍の中、個別訪問や電話等により関連企業、関係団体等へ説明・勧誘を実施した結果、昨年度の実績値を上回る自主財源収入がありました。目標達成には至りませんでした。								

本市による評価	達成状況	区分 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	区分選択の理由 C 補助金、指定管理料以外の自主財源については、コロナ禍における施設利用料や講座参加料等が減少したため、目標を達成できなかったものの、新たな自主財源の確保における広告料については、関連団体等への訪問等により、昨年度の実績を上回る広告料収入があり、一定の効果を得ることができたため。
---------	------	--	--

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	II	方向性の具体的内容 コロナ禍の中、賛助会費及び季刊誌「SIGNAL」での広告収入の確保を図ることはできましたが、ホームページでの広告収入については、まだ十分な確保ができていないことから、主催事業及びセンター外での活動の際などに周知を行うとともに、リニューアルしたホームページを活用して情報発信を強化し、アクセス件数を伸ばすことにより広告価値を高めてまいります。また、コロナ禍の状況や対象者のニーズ等を踏まえながら、講演会・各種講座等について、ZOOM等を活用したオンラインによる実施が円滑に図れるよう環境整備を行うなど、財源確保に向けた取組を進めてまいります。施設利用につきましても、センター外での活動やリニューアルしたホームページを活用して認知度の向上を図り、自主財源の確保に努めてまいります。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市国際交流協会	所管課	市民文化局市民生活部多文化共生推進課
----------	-----------------	-----	--------------------

4. 業務・組織に関する取組①(令和3(2021)年度)

項目名	国際交流をめぐる多様化するニーズに対応する法人組織体制の構築
計画(Plan)	
指標	①管理運営能力及び専門性向上のための研修への参加回数、②コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	<ul style="list-style-type: none"> 市内在住外国人市民は増加しています(登録人口は平成30年6月末現在40,626人、市人口に占める割合は約2.67%)。さらに、外国人観光客の増加や2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、市民のボランティアへの関心の高まりが見られるなど、法人設立時(平成元年)から社会・経済情勢が大きく変化しています。定住外国人市民の増加・多様化に伴う多方面における支援をはじめ、インバウンドやオリンピック・パラリンピックへの対応などの新しい課題に対して、法人に期待される役割は増加しています。 正確な情報を発信する必要性から、専門知識を備えた人材の育成に努める必要があります。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容、人員体制等を検証して必要な改善を行い、国際交流センター次期指定管理(令和3年度-令和7年度)の受託に備えます。 自主的・自律的な運営を行うための管理運営能力及び専門性向上のための研修を充実させます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①自主的・自律的な運営を行うための管理運営能力及び専門性の向上を図るため、引き続き、各職員に業務内容等に応じた研修に積極的に参加させるとともに、研修内容等について職員間での情報の共有を図ります。 ②すべての職員がコンプライアンス遵守に高い意識を持ち、コンプライアンスに反する事案発生を防止するため、定期的に職員全員が参加するミーティングを開催するなど、組織内の情報共有・可視化を図ります。

実施結果(Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職員の自主的・自律的な管理運営能力及び専門性の向上のため、業務内容、階層に応じた様々な研修に積極的に参加させる(オンライン研修を含む。)とともに、それぞれが受講した研修内容について職員間での情報の共有化を図りました。 外国人相談事業に関連して、出入国在留管理局主催の「外国人相談窓口相談員研修入管法基礎(オンライン)」(相談員12名)、「転職、離婚等相談における留意(オンライン)」(相談員8名)、「相談員を始められた方へ(オンライン)」、「外国人相談窓口相談員研修会」(相談員5名)や全国市町村研修財団主催研修の「外国人が安心して医療を受けられる環境整備」(担当課長、相談員)、及び公的年金に関する研修(担当課長、相談員12名)や高校進学ガイダンス研修(相談員8名)などに参加し、各相談員の能力や専門性の向上を図りました。 自治体国際化協会主催の「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練」への参加や全国市町村研修財団主催の「多文化共生の実践コース(前期・後期)」などに参加することにより、各職員の管理運営能力の向上を図りました。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織内での定期的なミーティングとして、事務局長と各課長による課題の共有化等のための管理職打合せを始め、職員全員参加による全員ミーティング、情報の共有化を図るための各課ミーティングを行い、組織としてのコンプライアンス意識を高めるための対策を講じました。
---------------	--

評価(Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	管理運営能力及び専門性向上のための研修への参加回数	目標値	25	27	29	31	33	回
	説明 自主的・自律的な運営に向けた職員の資質向上	実績値		30	49	151	107	
2	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 コンプライアンスの遵守	実績値		0	0	0	0	
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2に対する達成度		a						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
<ul style="list-style-type: none"> 管理運営能力及び専門性向上のための研修に各職員を積極的に参加させるなど、自主的・自律的な運営に向けた取組を進めました。 コンプライアンスに反する事案について、日頃から組織内での情報の共有化を図るとともに、全職員ミーティングや課内ミーティングなどの機会を通じて、各職員が高い意識を維持できるよう指導を行い、コンプライアンスに反する事案の発生を防止しました。 								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 管理運営能力及び専門性向上のための様々な研修機会を捉え、積極的に参加した上で、組織内の情報共有を図ることにより、コンプライアンスに反する事例の発生を防止し、目標値を達成することができたため。

改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市国際交流協会	所管課	市民文化局市民生活部多文化共生推進課
----------	-----------------	-----	--------------------

業務・組織に関する取組②(令和3(2021)年度)

項目名	認知度の向上
計 画 (Plan)	
指標	①ホームページアクセス件数、②各種メディアへの掲載及び出演回数、③国際交流センター外での活動回数
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・法人及びその指定管理施設である国際交流センターについて、施設のある中原区以外では市民の認知度は、必ずしも高いとは言えない状況にあることから、認知度向上への取組が必要です。 ・国際交流センター以外の場所での法人の事業企画・参加が少ないです。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流センターを拠点としながらも、同センター以外で開催・実施されるイベントや事業についても法人として積極的に参加し、法人及び主催事業等をPRをします。 ・広報誌などの紙媒体、HP、かわさきFM、ブログ、フェイスブック、各種ポータルサイト等の様々なツールを積極的に活用し、広報の充実を図ります。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームページについては、最新の情報発信を行うとともに、見やすさや魅力あるホームページづくりのため、デザイン等のリニューアルを実施し、アクセス件数の増加による認知度の向上を図ります。 ②新聞・広報誌やラジオ・テレビ等の各種メディア、ホームページ、ブログ等の様々なツールを活用し、法人及び事業の情報を積極的に発信します。引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、センター外での事業やイベント等の中止が想定されるなか、各種メディア等による発信を強化し、認知度の向上のための取組を進めていきます。 ③国際交流センター外での事業やイベントに参加するとともに、関係企業・関係団体等への事業PRを行うなど、認知度の向上に取り組みます。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすく魅力あるホームページとなるよう、また、市民ニーズに沿った最新の情報を迅速に発信することを心がけた結果、アクセス件数について目標値を5%程度上回ることができました。また、視覚的に訴え全体の印象をアップさせるためにホームページデザインのリニューアルを行いました。 <p>【指標2関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわさき市民放送(かわさきFM)においては、毎月第2土曜日に提供している放送番組「世界の国からこんにちは」を継続しており、当協会や各種事業についての広報を行いました。 ・新聞等の大手メディアをはじめ、「市政だより」などの川崎市広報誌やタウンニュース、ケーブルテレビなどの各種地域媒体や様々な情報誌において、広く国際交流センターのイベント情報や法人事業の発信に積極的に取り組みました。昨年度に引き続き、コロナ禍の影響で市内各種イベントの中止・縮小が見込まれ、認知度向上のためのセンター外での活動参加が難しい状況が想定されたため、メディア掲載への取組をより積極的に行いました。 <p>【指標3関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター外での活動については、コロナ禍の影響により昨年度に引き続き、当初参加を予定していた災害時の外国人支援の取組への周知に向けた防災訓練や、取組事業の周知を予定していた区民まつり、多摩川国際マラソン大会などが中止となる中、今年度新たに実施された「外国人向け生活定着支援企画」に計3回、幸区で行われた「多文化防災訓練」、「幸区多文化共生推進事業外国人生活オリエンテーション」、及び教育委員会主催の「外国につながる子どもと家庭のためのプレスクール」に計2回(高津区、多摩区)の合計7回参加し、外国人窓口相談をはじめとした国際交流センター事業のパンフレット配布や事業説明等について、認知度の向上につながるよう対応しました。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	ホームページアクセス件数	目標値		121,765	125,417	129,179	133,054	件
	説明 市民による認知度の向上	実績値	118,219	121,889	148,973	119,150	139,874	
2	各種メディアへの掲載及び出演回数	目標値		78	79	80	81	回
	説明 市民による認知度の向上	実績値	77	79	82	107	182	
3	国際交流センター外での活動回数	目標値		5	6	7	8	回
	説明 施設外での法人事業PR機会拡大	実績値	4	6	3	3	7	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		a						
指標3 に対する達成度		b						

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

各種メディアへの掲載等については積極的に取組を進め、目標値を大きく上回ることができました。ホームページについては、今年度デザインのリニューアルを行うとともに、アクセス件数についても目標達成となりましたが、これまでの最高値(令和元年度)には及ばなかったため、今後も魅力的で見やすいホームページづくりによるアクセス件数の増加を図ります。センター外での活動については、コロナ禍の影響による市主催事業をはじめとした様々な事業の中止・規模縮小の影響もあり、昨年度実績は上回りましたが目標達成とはなりません。引き続き、これらの取組を着実に実行し認知度の向上を図ります。

本市
による評価

達成状況

- 区分
- A. 目標を達成した
 - B. ほぼ目標を達成した
 - C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
 - D. 現状を下回るものが多くあった
 - E. 現状を大幅に下回った

B

区分選択の理由

ホームページアクセス件数や各種メディア掲載及び出演回数を増加させたことで、一定の効果を上げることができ、国際交流センター外での活動回数についても、コロナ禍における主催事業の中止や規模縮小の影響がありましたが、昨年度の実績を上回る実績により、一定の効果をj得ることができたため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

